



COMPANY'S  
CHALLENGE

NO.107



## さまざまな子育て支援サービスで 忙しいママのお手伝いを

【プロフィール】

福岡県生まれ。香蘭女子短期大学を卒業後、百貨店や医療事務などを経て、出産を経験したのち、2015年に創業。2017年、(株)アンジュブランを設立。

株式会社アンジュブラン 代表取締役 舌間 陽子氏

### 自らの経験とスキルを活かし 気軽に利用できる保育所を開設

フランス語で“白い天使”を意味する、株式会社アンジュブラン（福岡市城南区別府）。福岡市内で小規模保育園や企業主導型保育園、託児所など合計4つの施設を運営し、多角的な子育て支援サービスを展開しています。そのコンセプトは「お母さんの実家代わり」。子育てに追われる保護者が子どもを預けることで、育児の手を休め、息抜きができる環境をつくることを大切にしているのだといいます。そうしたサービスの背景には、代表取締役の舌間陽子さん自らの苦労がありました。

舌間さんは高校の先生に保育士の道を勧められ、福岡市内の短大に進学。百

貨店や医療事務などを経て29歳で結婚し、出産を機に専業主婦として家事や育児を担っていたそうです。「保育士の資格があったので、自分の子育ては大丈夫だと思っていたのに、実際は想像以上に大変でした。子どもを預けて働こうと思っても、費用が高く簡単には利用できないという現実を知りました。そこで、保育士の資格と一般企業で身につけたスキル、ビジネスパーソンとしてのマナーを活かして、自分で保育園を作れば良いのではと思ったんです」と当時を振り返ります。

経営について右も左もわからない中、福岡商工会議所の創業支援を受けて融資制度を利用。2015年に創業し、福岡市早良区百道に一軒家を借り、託児施設を開設しました。

### 「お母さんの実家代わり」を コンセプトに事業を展開

創業から2年後の2017年には、法人化して事業を拡大してきたアンジュブラン。その背景には、保護者に寄り添いたいという舌間さんの強い思いがありました。

福岡は通勤族が多く、実家が遠かったり、知り合いがいなかったりと、周りの協力が得られず孤独な状態で子育てを行う“孤育て”によって負担を感じる保護者が少なくないといいます。「保育園として安心安全なのは当たり前。私自身が苦勞してきたからこそ、お母さんたちを助けたいという思いが強いんです。なるべく手間を省けるように、英会話や体操教室、水泳といった習い事も保育園で済ますことができるようになりました。アン



1



2



3



4

1 普通の保育では読み聞かせなどをしっかり行い、外部から先生を呼ぶことで、希望者は習い事まで園内で完結。

3 バス遠足や芋掘りなど、年間行事で子ども満足なサービスを展開。

2 園内が清潔で、安心・安全な環境なのは当たり前のこと。そのうえで保護者にも子どもにも優しいサービスを検索する。

4 お迎えの時に買える惣菜は給食のアレンジ。栄養のことも考えられている。

ジュブランは用事があるから、仕事があるからという理由がなくても後ろめたく感じなくて良い場所。疲れている、休みたいという気持ちで実家に頼むようにお子さんを預けていただいで大丈夫なんです。遊びに行っても心身ともにリフレッシュするというのも、お母さんにとって大切なこと。私自身も皆さんの力になれて感謝の言葉をいただくと力になりますからね」と笑顔を見せます。

創業から約10年、年間売上1億3,000万円超、従業員約40名になるまで事業を拡大してきたアンジュブランですが、当初は苦勞の連続だったそう。「百道の施設は場所もわかりにくく、なかなか利用してもらえない状態ではありませんでした。色々なところに出掛けてはチラシを配るなどPR活動も頑張っていたのですが、最初の3年間は自分の給料もままならず、周囲のサポートを得ながらなんとか活動してきました」

そんな時、近所を歩いている際に急に手をつかまれた舌間さん。驚いていると、「園の存在にとっても助けられました。園がなかったら、私は子どもに虐待をしてしまう母親になっていたと思う」と園の利用者に感謝を伝えられたといま

す。この経験から、自分のために始めた事業が他人の役に立っているという実感が得られたそうで、「お母さんの実家代わり」になれる場所という軸のある事業展開で、地道に取り組んでいる現在に繋がっているといいます。

### 惣菜の販売やシッター派遣など 子育て支援を拡大中

アンジュブランでは、2021年ごろから保育園で惣菜の販売事業もスタートしました。園に併設する調理施設でつくった園児たちの給食を大人用にアレンジして販売。そこにも「お母さんのため」という想いが込められています。「例えば仕事帰りにお子さんを迎えにきたとして、その足で子どもを連れて夕食の買い物をするのは本当に大変なんです。お迎えの時にサッと惣菜が一品買えると、保護者も助かるのではないかと始めてみました。食卓にお惣菜が並ぶと良い顔をしない方もいらっしゃるかもしれませんが、お子さんが『今日はこれをお昼に食べたんだよ』と話せば、家族のコミュニケーションのきっかけにもなるはず」と舌間さん。

また2024年からは一時預かりの利用者の声に応える形で、保育士スタッフを自宅に派遣するベビーシッター事業を福岡市内で開始。「知らない人に来てもらうのはハードルが高いかもかもしれませんが、気心が知れている先生であれば保護者もお子さんも安心できますからね」。地域からのニーズは高く、利用者も順調に増えているそうです。

今後はカフェ事業やベビーシッター事業の海外展開など、さまざまな事業へのチャレンジを検討する舌間さん。「どこの国でも私たちのコンセプトである、お母さんの実家代わりのサービスは変わりません。育児に疲れてしまった時の、ママたちの力になれる場所を増やしていきたいですね」と意気込んでいます。

取材日：10月8日



### 株式会社アンジュブラン

〒814-0104 福岡市城南区別府3-18-2

TEL:092-834-7778

<https://angeblanc-fukuoka.com/>